

国指定重要無形民俗文化財

嗟峨大念佛狂言 秋季公演

2024年
10月27日(日)

午後1時半開演
終演予定午後5時

熊坂
大黒狩
羅生門

会場：清凉寺境内狂言堂

観覧無料・全席自由
雨天決行・荒天中止



主催：嗟峨大念佛狂言保存会 協力：京都嵐山ライオンズクラブ
〒616-8447 京都市右京区嵯峨釈迦堂藤ノ木町 46
<https://www.sagakyogen.info>
tel. 075-861-0343

11月9日(土)午前 夕陽祭(清凉寺)の
花魁道中12嗟峨大念佛狂言の参加が決定!

国指定重要無形民俗文化財 嵯峨大念佛狂言秋季公演

2024/10/27[日] 13:30
清涼寺境内狂言堂

■嵯峨大念佛狂言について

京都市の西、嵯峨釈迦堂の名で親しまれている古刹清涼寺の境内で執り行われる「嵯峨大念佛狂言」は国の重要無形民俗文化財にも指定されている民俗芸能です。すべての役者が面をつけ、台詞がなく、身振り手振りだけで芝居が進行する点に大きな特徴があります。現在は、二十番の演目が残されています。

その歴史は古く、言い伝えでは鎌倉時代に融通念佛をひろめた円覚上人導御の創始とされています。物的な資料からみても、嵯峨大念佛狂言には室町時代(享禄2年[1529])の銘を持つ面が伝わっており、すでに500年近い歴史を有していると考えられます。この他にも、桃山時代の優秀な面打師であった喜兵衛の刻銘を持つ女面《深井》や、和宮降嫁の際に宮中の女官としてその説得にあたった高野房子そして幕末の勤王家津崎村岡局の菩提を弔うために奉納された装束など、美術史的にも宗教史的にも価値の高い数々の資料が伝わっています。

■秋季公演

清涼寺大念佛会の創始者・円覚上人の命日である10月26日に近い日曜日に開催されます。公演の前には清涼寺裏手の地藏院跡にある上人の墓に保存会の会員が墓参に訪れます。上演されるのは原則として三番です。地藏院は清涼寺の真言系学侶がいた寺院であり、狂言で用いられる道具類の多くは、かつてこの寺に奉納されたものでした。

本年の公演では「熊坂」、「大黒狩」、「羅生門」の三つの演目を上演いたします。

■熊坂

牛若丸がどこからともなく現れ立ち去っていきます。

しばらくすると大泥棒熊坂長範の子分どもが登場し、通行人を襲おうと待ち伏せします。彼らは通りかかった通行人の衣服をはぎ取り、ぶんどり品を見せるために兄貴分を呼びに行きます。今度は兄貴分も一緒に通行人の衣服をはぎ、戦利品を見せようと熊坂長範を呼んできます。

長範は子分たちに「わしは帰るが、お前たちは松明を焚いて夜盗に行け」と命じ、子分たちは夜の街へと去っていきます。

夜盗の噂を耳にした牛若丸が一味を退治しようと街に出ていると、そこへ長範の子分が現れますが、牛若丸は次々と子分どもを退治し、最後は長範との立ち回りとなります。長範は腕を斬り落とされてしまい、逃げ出します。

■大黒狩

僧侶の妻帯が許されなかった時代の物語。一人の坊主が隠し妻(大黒)と赤児を連れて寺へ帰ってきます。中に入って一安心した坊主は大黒から赤児を渡してもらい大はしゃぎ。大黒はそんな坊主をたしなめます。

とそこへ供を連れて旦那が現れ、寺の仏様を拝もうとします。供が寺の戸を叩くと坊主は大慌て。急いで大黒と赤児を仏様の御厨子に隠します。坊主はしぶしぶ旦那と供を中に入れますが、御厨子はけっして開けません。交渉の末ふたたび二人は拝みに来ますが、こんどはほんの一瞬御厨子が開いたで追い出されます。

旦那はこれを怪しんで、中にはきつと女と子どもがいるに違いない、わしが赤児を奪うからお前は坊主を縛れと命じます。うまく御厨子を開かせた二人は打ち合わせ通りに大黒を追い出し、坊主を縛って意気揚々と帰っていきます。

■羅生門

平安京の南の門・羅生門の楼上に鬼が棲みつき、通行人を襲ってその肉を喰らっていました。

頼光は家来の渡邊綱と平井保昌に命じて、その真偽を確認しようとしします。綱は「鬼などいない」と言い張り、保昌は「通行人を喰っている」と言い張ります。ついに二人は刀を抜いて斬り合おうとしますが、頼光がそれをおしとどめます。頼光は綱に命じて、羅生門に通行禁止の札を立てさせることにしました。それでも収まらない保昌は、ふたたび禁札を運ぶ綱に襲いかかりますが、頼光にたしなめられ酒をもらって落ち着きます。

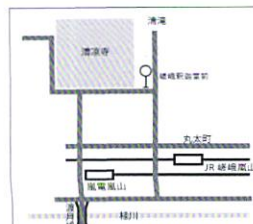
綱は無事に羅生門に禁札を立てますが、帰りぎわに鬼に襲われ立ち回りとなります。最後に鬼は綱に腕を切り落とされ、一目散に逃げ去ります。仕留めた腕をもった綱は堂々と引きあげます。

■夕霧祭 2024/11/9(土) 於清涼寺

夕霧太夫は江戸の高尾太夫、京の吉野太夫とともに「寛永三名妓」と謳われた太夫です。その生まれは清涼寺西門近くといわれており、円覚上人と同じく地藏院跡に墓があります。夕霧祭は27歳で亡くなったこの太夫の追善法要として営まれるもので、現役の島原太夫による舞の奉納や太夫道中も行われます。今年はこの太夫道中に嵯峨大念佛狂言メンバーも参加します。

清涼寺へのアクセス(狂言堂は境内の西北にあります)

- 京都市営バス 28系統・91系統 嵯峨釈迦堂前下車 西へ徒歩2分
- 京都バス 61・62・71・72・81系統 嵯峨釈迦堂前下車 西へ徒歩2分
- JR 嵯峨野線(山陰線) 嵯峨嵐山駅下車 北西へ徒歩15分
- 嵐電 嵐山本線 嵐山駅下車 北へ徒歩15分



観覧無料/雨天決行
お席に限りがございますので、
お早めにお越しください。

嵯峨大念佛狂言保存会
お問合せ：075-861-0343
✉ vtmi19509@leto.eonet.ne.jp
オフィシャルサイト：www.sagakyogen.info